

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン案 改定内容一覧【2021年9月7日時点】

1、デルタ株のまん延に伴う情報の追加

No	現行版	9/7 改定	改定ポイント
1	<p>プロトコル 1 I.新型コロナウイルスへの理解</p> <p>1. 病原体（中略）</p> <p>『新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き 第4版』</p> <p>2. 感染経路</p> <p>(1)飛沫感染（咳・くしゃみ、おしゃべりによる感染）</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常の風邪やインフルエンザのように、咳やくしゃみによりウイルスが排出され、それを吸入することにより感染が生じる 特に新型コロナウイルス感染症では、濃厚接触状態（手が届く範囲）における“おしゃべり”でも感染が広がる可能性があることが重要 <p>(2)接触感染（手で触れることによる感染）</p> <ul style="list-style-type: none"> 咳やくしゃみ、おしゃべりで環境に排出されたウイルスがものの表面に付着し、手指などを介して粘膜（口、鼻、眼など）から侵入することにより感染が成立する ウイルスは条件次第では、環境中で3日間程度、感染性を保つ <p>(3)参考：厚労省「新型コロナウイルス感染症にはどのように感染しますか。」</p>	<p>プロトコル 1 I. 新型コロナウイルスへの理解</p> <p>1. 病原体（中略）</p> <p>『新型コロナウイルス感染症 COVID-19 診療の手引き 第5.2版』</p> <p>2. 感染経路</p> <p>(1)飛沫感染（咳・くしゃみ、おしゃべりによる感染）</p> <ul style="list-style-type: none"> 通常の風邪やインフルエンザのように、咳やくしゃみによりウイルスが排出され、それを吸入することにより感染が生じる 特に新型コロナウイルス感染症では、濃厚接触状態（手が届く範囲）における“おしゃべり”でも感染が広がる可能性があることが重要 <p>(2)接触感染（手で触れることによる感染）</p> <ul style="list-style-type: none"> 咳やくしゃみ、おしゃべりで環境に排出されたウイルスがものの表面に付着し、手指などを介して粘膜（口、鼻、眼など）から侵入することにより感染が成立する ウイルスは条件次第では、環境中で3日間程度、感染性を保つ <p>(3)参考：厚労省「新型コロナウイルス感染症にはどのように感染しますか。」</p> <p>厚労省「国内の発生状況」</p> <p>資料追加</p> <div style="text-align: center;"> <p>デルタ株の感染リスク（会話の距離、時間）</p> <p>感染力が強いデルタ株は、従来株と同じ感染リスクにするためには、従来株よりも距離が必要。 また、半分以下の会話時間で同じ感染リスク</p> <p>「15分間の通常会話（マスク無）で、感染リスクが同じになる距離」 従来株：約1.2m デルタ株：約1.8m</p> <p>「2mの距離の通常会話（マスク無）で、感染リスクが同じになる時間」 従来株：45分 デルタ株：20分</p> <p><small>※理化学研究所ウイルス飛沫感染の予測に関する記者発表会動画資料（2021年8月23日）第3版を基に作成 ※本研究において従来株より2.3倍の感染力がある変異株として表記 8月20日東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議資料</small></p> </div> <p>※ 上記は従来株と比較したデルタ株の感染リスクの高さを示すものであり 記載の距離や時間を守れば感染しないことを示すものではありません</p>	<ul style="list-style-type: none"> デルタ株のまん延に伴い感染リスクに関する参考情報を追加 「診療の手引き」7月30日更新版へ差し替え 国内の発生状況に関するデータ、厚労省リンクを追加 不織布製マスクを隙間なく着用することを改めて推奨

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン案 改定内容一覧【2021年9月7日時点】

II. 感染を予防する

5. サッカー選手の予防

(1) 感染予防の習慣化

- 規則正しい生活、バランスの取れた食事、十分な休養・睡眠（免疫力アップ）
- 外出時は常にマスク。（飛沫感染防止）
- 咳エチケットを守る（他人にうつさない）
- 手洗い、手指消毒（手についたウイルスを除去）
- 口・鼻・目に不用意に触れない
- 多くの人が共通して触れるモノ、触れる場所に注意 → 触れたら手洗い・手指消毒
- マスク無しで近距離（1～2m 程度）の会話は避ける

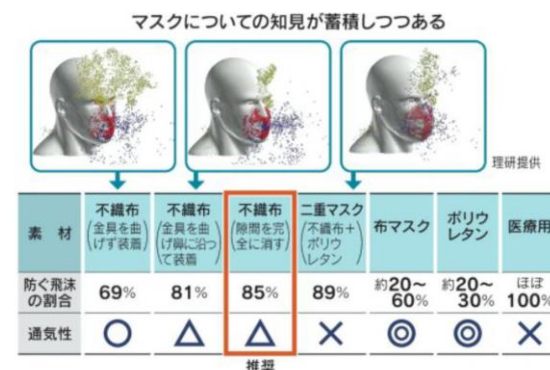
II. 感染を予防する

5. サッカー選手の予防

(1) 感染予防の習慣化

- 規則正しい生活、バランスの取れた食事、十分な休養・睡眠（免疫力アップ）
- 外出時は常にマスク。マスクは不織布製で隙間なく着用することが望ましい（飛沫感染防止）
- 咳エチケットを守る（他人にうつさない）
- 手洗い、手指消毒（手についたウイルスを除去）
- 口・鼻・目に不用意に触れない
- 多くの人が共通して触れるモノ、触れる場所に注意 → 触れたら手洗い・手指消毒
- マスク無しで近距離（1～2m 程度）の会話は避ける

資料追加



不織布マスクを正しく着用することが飛沫を防ぐ確率が高い

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン案 改定内容一覧【2021年9月7日時点】

2、暫定的な濃厚接触疑い者に関するJリーグ基準の見直し

No	現行版	9/7 改定	改定ポイント
2	<p>プロトコル 1</p> <p>IV.安全を確保しながら、活動を継続する</p> <p>14. 公式試合を予定通り開催する</p> <p>(1) 陽性（含む、判定保留）判定を受けた選手はただちに自主隔離する（A）</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合、チームトレーニングに参加しない <p>(2) 保健所による濃厚接触指定を受けた選手は自主隔離する（B）</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合、チームトレーニングに参加しない クラブの練習場を個人で利用することを、保健所に相談してよい（クラブハウスは使用しない） <p>(3) 保健所による濃厚接触指定が試合に間に合わない場合、リーグ独自の基準で濃厚接触疑い者を指定する（C）</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年7月以降、複数の事案で各所の保健所から示された判断をもとに、リーグと専門家会議が協議して定めた基準を次項に示す <p>(4) (A) (B) (C) の該当者を除いたうえで、試合を開催することを原則とする</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合開催可否の決定はチェアマンが行い、当事者クラブはこの決定に従う Jリーグ及び当事者クラブによる事前協議を実施することがある <p>(5) 上記に関わらず1クラブ内に同時的に複数（3人以上）の感染者が出た場合は、専門家チーム・地域アドバイザーに相談のうえ、試合開催可否を検討する</p>	<p>プロトコル 1</p> <p>IV.安全を確保しながら、活動を継続する</p> <p>14. 公式試合を予定通り開催する</p> <p>(1) 陽性（含む、判定保留）判定を受けた選手はただちに自主隔離する（A）</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合、チームトレーニングに参加しない <p>(2) 保健所による濃厚接触指定を受けた選手は自主隔離する（B）</p> <ul style="list-style-type: none"> 試合、チームトレーニングに参加しない クラブの練習場を個人で利用することを、保健所に相談してよい（クラブハウスは使用しない） <p>(3) 保健所による濃厚接触指定が試合に間に合わない場合、リーグ独自の基準で濃厚接触疑い者を指定する（C）</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年7月以降、複数の事案で各所の保健所から示された判断をもとに、リーグと専門家会議が協議して定めた基準を次項に示す（基準は2021年9月7日改定） <p>(4) (A) (B) (C) の該当者を除いたうえで、<u>リーグ指定のオンサイト検査を実施し、陰性を得た者で試合を開催することを原則とする</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 試合開催可否の決定はチェアマンが行い、当事者クラブはこの決定に従う Jリーグ及び当事者クラブによる事前協議を実施することがある <p>(5) 上記に関わらず1クラブ内に同時的に複数（3人以上）の感染者が出た場合は、専門家チーム・地域アドバイザーに相談のうえ、試合開催可否を検討する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● オンサイト検査のプロセスをガイドラインに反映

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン案 改定内容一覧【2021年9月7日時点】

3	<p>15. 暫定的な濃厚接触疑い者に関するJリーグ基準</p> <p>(1) 発症日（無症状の場合、検体採取日）の2日前以降の接触を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数人で1時間以上の会食については、5日前以降を確認する <p>(2) 陽性者と日常的に接触している者。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> 通訳と、その担当選手 寮で同室 <p>(3) 1m以内、マスクなしで、15分以上会話した者</p> <p>(4) 一般の飲食店で陽性者と飲食を共にした者</p> <p>(5) 5日前でも、複数人で1時間以上の会食を共にした者</p> <p>(6) 移動中等での隣席での飲食で、十分に注意を払わなかった場合</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分な注意とは、距離（一人おき交互など）、食事時間、会話を慎む、食事前の手指消毒をいう <p>(7) 48時間以上連続する発熱・咳・身体のだるさなど疑い症状のある者は「陽性疑い」と見なし、彼との関係で「濃厚接触疑い」にあたる者がいないか、確認する</p> <p>(8) 他の症状を伴わない単純な発熱は、「陽性疑い者」と見なさない</p>	<p>15. 暫定的な濃厚接触疑い者に関するJリーグ基準</p> <p>(1) 発症日（無症状の場合、検体採取日）の<u>3日前</u>以降の接触を確認する</p> <p>(2) 陽性者と日常的に接触している者。例えば、</p> <ul style="list-style-type: none"> 通訳とその担当選手 寮で同室 <p>(3) マスクなしで、<u>2メートル以内、24時間以内に累積で15分以上</u>会話した者</p> <p>(4) <u>同じ車に同乗した者で、以下に該当する者</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>陽性となった者が、マスクを着けずに累積15分以上会話をしたときに2メートル以内にいた者。ただしパーティション等で座席間が区切られている場合は該当者から外してよい</u> <p>(5) <u>マッサージ等の施術を行った者・受けた者のいずれかが、下記の1つ以上該当する場合</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>施術した者・受けた者のいずれかが、不織布マスクをつけていなかった</u> <u>施術した者が、施術ごとに手袋の交換もしくは手指消毒を行っていなかった</u> <u>施術した者が、施術ごとにタオル交換を行っていなかった</u> <u>施術した者が、器具消毒を行っていなかった</u> <u>こまめに換気されるか、屋外など空気の滞留のない場所で行われなかった</u> <p>(6) <u>陽性となった者が発症日の5日前以降に複数人で食事をしていた場合は、外食か否かにかかわらず、原則、食事を共にした者は全員濃厚接触疑い者とみなす。ただし、下記の条件のいずれか1つでも満たしていれば濃厚接触疑い者から外してよい</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <u>お互いの距離が2メートル以上離れていた</u> <u>各席がパーティションで区切られていた</u> <u>黙食をしていた</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ● デルタ株を中心とした全国的な感染拡大の現状を受け、専門家チームの提言等に基づき基準の見直しを反映
---	---	--	--

Jリーグ新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン案 改定内容一覧【2021年9月7日時点】

3、段階的な緩和の手続き

No	現行版	9/7 改定	改定ポイント
4	<p>プロトコル 7（有観客での開催）</p> <p>156. イベント制限の考え方と手続き</p> <p>(1) Jリーグにおける入場者数の制限の考え方と前提となる感染防止策 プロトコル 3 27. 参照</p> <p>(2) 段階的な緩和の手続き</p> <p>① ステップ 1 を「緊急事態区域」、ステップ 2 を「まん延防止区域」、ステップ 3 を「経過措置区域」、ステップ 4 を「その他の区域」とし、段階的にステップアップをする際、クラブはリーグへ所定のレポートを提出し、ガイドラインを遵守し感染対策のもとで安全に運営されることを示す</p> <p>② ステップアップを希望する対象試合の直前のホームゲームを対象に、所定のレポートをリーグへ提出する</p> <p>(ア) 試合翌日の 14 時を提出期限とする。専用フォームを使用する。</p> <p>(イ) レポートが未提出の場合や、提出された内容や運営に著しく改善を要する内容が含まれていた場合、Jリーグはステップアップを保留する場合がある。ステップアップを保留する場合は、レポートの受理後、原則 2 営業日以内に当該クラブへ通知する。</p>	<p>プロトコル 7（有観客での開催）</p> <p>156. イベント制限の考え方と手続き</p> <p>(1) Jリーグにおける入場者数の制限の考え方と前提となる感染防止策 プロトコル 3 27. 参照</p> <p>(2) 段階的な緩和の手続き</p> <p><u>主管クラブは緩和に際し予め自治体や対戦クラブ等と緊密に連携すること</u></p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 段階的な緩和を実施する際の手続きの廃止 ● 地域ごとの感染状況や自治体別の対応方針が多様化している現状に基づき、自治体や対戦クラブ等との緊密な連携を前提に、段階的な制限緩和を実施する手続きを廃止し運営負担を軽減